

# 技術経歴書

イニシャル(氏名)	生年月日				年齢	性別	国籍	最寄駅							
F.I	西暦	1999	年	1	月	22	日	満	26	歳	男	日本	都営浅草線	泉岳寺	駅

学歴	経歴	年月	勤務開始可能日	2025				年	4	月	1	日	資格	資格・講座名	取得日
	東京大学 理学部 化学科 卒	2021/3	勤務可能地域	東京											
	甲府南高校 卒	2017/3/1	遠距離出張可否	不可											
			休日出勤可否	不可											
			残業可否	不可											
			その他勤務条件	リモートワーク											

スキル要約(自己PR)	<p>新卒から2年エンジニア業務に携わり、その後自社アプリのプロダクトマネージャーを1年間行ったり、AWSを中心とするシステム開発を経験しております。</p> <p>エンジニア時代は、主に、Python, MySQL, PHP, Linuxなどを使用し、Webアプリケーションの一部開発や、作業効率化ツールなどを作成しておりました。</p> <p>また、AWSも使用しており、EC2, ECS, S3, Lambda, StepFunctions, SageMaker, Redshift, API Gateway, DynamoDBなどを使用し、上記開発を行っておりました。</p> <p>プロダクトマネージャーとしては、全体のプロジェクト管理からアプリの課題を構造的に明確にして対策を考え、開発会社・広告代理店との連携も担当しておりました。</p>
-------------	--

No	期間 (経験月数)	業務名称 (業種)	工程						業務内容	開発環境 / OS / ツール / 言語 / フレームワーク	役割 (人数)
			要件定義	基本設計	詳細設計	製造	テスト	運用			
1	2025年2月 ~ 2025年4月 (2ヶ月)	Pythonリプレイス・修正	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 大手企業のデータ予測基盤の処理リプレイス・修正</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム設計</li> <li>・Pythonも用いたシステム開発</li> <li>・gitでのソース管理</li> <li>・Azureを用いた開発</li> <li>・backlogでのタスク進捗管理</li> <li>・単体テスト仕様書作成</li> <li>・単体テスト実行</li> </ul>	Python git Asure backlog	メンバー (5名)
2	2024年10月 ~ 2024年12月 (3ヶ月)	クラウドシステム開発	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 大手企業のデータ自動解析システムの一部サービス開発</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム設計</li> <li>・Lambda, stepfunctionsを用いたシステム開発</li> <li>・Pythonも用いたシステム開発</li> <li>・gitでのソース管理</li> <li>・codecommitによるデプロイ</li> <li>・jiraでのタスク進捗管理</li> <li>・eventbridgeでの定期実行</li> <li>・AI Inside API, AWS, databricksの連携</li> </ul> <p>【実績・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業で新たに使用するデータ自動解析システムの一部開発を担当し、AIInside, AWS, databricksサービスの連携を実現した</li> <li>・最善と思われる設計を提案し、すり合わせをしながら開発を進めた</li> </ul>	Python lambda stepfunctions s3 codecommit git jira eventbridge databricks AIInside	メンバー (5名)
3	2024年8月 ~ 2024年9月 (2ヶ月)	データアナリスト	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 大手企業のマーケティング支援のためのデータ分析とダッシュボード構築</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客折衝、議事録作成</li> <li>・looker studioでのダッシュボード構築、編集</li> <li>・BigQueryでのデータ集計、分析</li> </ul> <p>【実績・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアントニーズに合わせてLooker studioでダッシュボード構築を行った</li> <li>・BigQueryでデータ集計をし、クライアントのニーズを満たすデータ分析を行った</li> <li>・Looker studioもBigQueryもあまり触ったことのないものだったが、インターネットなどで情報収集をし、自ら使いこなせるようにした</li> </ul>	BigQuery Looker Studio	メンバー (5名)

4	2024年8月 2023年7月 ～ 2024年7月 (13ヶ月)	アプリPdM							<p>【プロジェクト概要・目的】 タイマーケットのデータ収集を目的としたアプリの機能追加プロジェクトにおけるプロダクトマネージャー</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客折衝、要件ヒアリング、議事録作成</li> <li>広告代理店選定、コミュニケーション</li> <li>機能要件定義</li> <li>ベンダーコントロール</li> <li>スケジュール、タスク管理、進捗管理</li> <li>課題の構造化、施策立案、課題管理表の作成/管理</li> <li>アンケート作成、配信</li> <li>プロジェクトMTGの運営</li> </ul> <p>【実績・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スピーディーな意思決定を実現する為、裏付けとなるデータの収集から戦略まで一貫して整えることで上長承認の期間が短縮化され、プロジェクトの進行が1機能の追加に3か月程度かかっていたところから、1か月程度に短縮されました。</li> </ul>		リーダー (7名)
	5	2022年7月 ～ 2023年6月 (12ヶ月)	社内新データ開発						<p>【プロジェクト概要・目的】 弊社のデータをより使いやすくするために、新たなデータを機械学習を通じて生成した。私自身は、その環境構築や、データを格納するデータベースの設計を担当した。</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SageMaker環境構築</li> <li>テーブル設計</li> <li>新データに関するドキュメントの作成</li> <li>クエリの具体例の提示</li> </ul> <p>【実績・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データがより使いやすくなり、分析の幅が広がった</li> <li>機械学習自体も、sagemakerを使用することで、簡単に実行できるようになった</li> <li>機械学習ロジックを考案する担当者と協力してプロジェクトを進めた</li> </ul>	Python AWS SageMaker Redshift SQL S3	メンバー (3名)
		6	2021年9月 ～ 2023年6月 (21ヶ月)	社内データ処理基盤更改					<p>【プロジェクト概要・目的】 社内の大規模データ処理基盤が、PHPで書かれていて、かつ、社内ではPHPが扱える人が少数だったため、Pythonに変更した。</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PHPをPythonにリプレース</li> <li>データ処理ロジックなどの再評価</li> <li>より速いデータ処理機構の実装</li> <li>LambdaやECS, StepFunctionsを使用し、サーバーレス機構を実現（日次の定期実行）</li> </ul> <p>【実績・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PHPのソースコードを自力で読み、Pythonにリプレース</li> <li>処理速度改善も実施</li> <li>先輩と協力して、2人でプロジェクト進行</li> </ul>	Python PHP S3 Redshift Lambda StepFunctions ECS DynamoDB EventBridge	メンバー (2名)
			7	2022年1月 ～ 2023年6月 (18ヶ月)	ビックデータ 月次処理機構の自動化					<p>【プロジェクト概要・目的】 社内でも月次で処理するビックデータがあり、以前はコマンドを叩きながら毎月作業していたが、全てサーバーレス化し、自動処理機構を構築した。</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>StepFunctionsでのワークフロー作成</li> <li>重複実行が起きない仕組みを構築</li> <li>エラーが起きても途中から再実行できる仕組みを考案</li> <li>処理後のデータ状況をグラフ化し、Slackでワンクリックで承認できる機構の実装</li> <li>データの特性を考慮した、効率の良い処理機構を作成</li> </ul> <p>【実績・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4人で担当し、リーダー的なポジションを担当</li> <li>主体的にアイデア出しを行い、アイデアを形に</li> <li>毎月5営業日は作業していたものが、全て自動化され、業務効率化された</li> </ul>	Python StepFunctions Lambda ECS EC2 S3 Redshift DynamoDB EventBridge SlackAPI API Gateway Slack App
8				2023年1月 ～ 2023年3月 (3ヶ月)	類似言語処理モデル開発					<p>【プロジェクト概要・目的】 弊社発のSaaS内で使用する類似言語モデルの開発、検証を行った</p> <p>【業務一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Pythonを使用したモデリング</li> <li>自然言語処理を用いて、日本語を正規化することで制度向上</li> </ul> <p>【実績・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先輩より依頼され、一人で実装、検証を行った</li> <li>検証結果、サービスに搭載されたのは別のサービスを使用したモデルだったが、自社でもモデリングできる可能性を示した</li> </ul>	Python EC2

9	2022年1月 ～ 2022年6月 (6ヶ月)	広告配信用フィード生成 機構開発 (某企業3社)	○	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 弊社の広告担当部署がクライアントの広告配信の際に使用するフィードを毎日生成する機構を開発した。商品がクライアントのECサイト上などにあるため、従来の方法だと、毎日手動で更新しなければならなかったが、スクレイピングをすることにより、毎日自動でフィードを生成することが可能となった。</p> <p>【業務一覧】 ・ Pythonによるwebスクレイピング ・ digdagワークフローによる日次バッチ処理 ・ 広告形式に合わせたフィード生成</p> <p>【実績・取り組み】 ・ 現在でも毎日自動運用されている ・ 広告部署と連携しながら、要件定義から実装、保守までを全て一人で担当</p>	Python digdag S3	メンバー (1名)
	10	2022年1月 ～ 2022年3月 (3ヶ月)	自然言語処理	○	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 自然言語処理を用いた、日本語データの解析を行った</p> <p>【業務一覧】 ・ mecabモジュールを使用した言語解析 ・ 社内でよく使用される言葉を収録したカスタム辞書を登録 ・ 解析結果をTableauで見やすくダッシュボード化</p> <p>【実績・取り組み】 ・ 社内の営業戦略担当とコミュニケーションをとりながら、要件定義から全て一人で担当 ・ 営業目線でどんなデータを出したら分析しやすいかを考え、ダッシュボード化 ・ mecabなどは全て自力で調べながら使用</p>	Python mecab Tableau Redshift SQL
11		2021年7月 ～ 2021年12月 (6ヶ月)	社内向けPythonライブラリ 開発	○	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 社内のデータ処理でよく使用される計算などを一般化し、関数化することで、Pythonの社内向けライブラリを整備した。また、社内であれば誰でもどの環境でも使用できるように、インストール手順などを整備し、社内に広めた</p> <p>【業務一覧】 ・ Pythonの関数化 ・ docstringを意識した関数化 ・ Sphinxモジュールを利用したドキュメント作成 ・ AWS Lambda用のレイヤー作成 ・ ローカルのインストール手順の整備 ・ ECSでの使用方法整備 (dockerfileなどの作成)</p> <p>【実績・取り組み】 ・ 社内のソースコードを見ながら便利関数を自ら考案 ・ 全てを自力で調べながら実装</p>	Python Lambda ECS EC2 S3 Redshift MySQL
	12	2021年8月 ～ 2021年9月 (2ヶ月)	データ抽出機構開発	○	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 データベースから複雑なデータを抽出し、CSVとしてS3に出力するバッチ処理機構を開発した。</p> <p>【業務一覧】 ・ 複雑なSQL文の作成 ・ 抽出データ量、計算量を考慮したSQLの分割 ・ PythonでのAWSサービス連携 ・ digdagワークフローでバッチ処理を実現</p> <p>【実績・取り組み】 ・ 先輩にアドバイスをもらいながらも、全て一人で開発 ・ githubを使用したプロジェクト管理</p>	Python Redshift S3 digdag SQL EC2 GitHub
13		2021年7月 ～ 2021年8月 (2ヶ月)	カレンダーアプリ開発	○	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 エンジニア研修として、同期と2人でGoogleカレンダーのようなカレンダーアプリを開発した。</p> <p>【業務一覧】 ・ API設計、開発 ・ データベース関連 (テーブル設計、開発) ・ データベース、API連携</p> <p>【実績・取り組み】 ・ 同期と協力しながら、カレンダーアプリを開発 ・ バックエンド側を担当し、API、データベースを設計、開発 ・ フロントエンド側と密にコミュニケーションをとりながら設計、開発を行った。</p>	Python MySQL Linux

14	2021年7月 ～ 2021年8月 (2ヶ月)	社内プール金管理 システム開発	○	○	○	○	○	○	<p>【プロジェクト概要・目的】 プール金という制度が社内であり、月に一定金額、PC周りの製品に自由に使用できる経費が溜まっていく。その中からPC周りの製品を自由に購入できるので、現状の自分の金額と、今までの製品の購入履歴がわかる仕組みを開発した。</p> <p>【業務一覧】 ・金額の計算ロジック作成 ・エラー時の細かい制御の設計、実装 ・Chromeの拡張機能として、個人ごとにその人の金額、履歴を表示</p> <p>【実績・取り組み】 ・新卒で入って初めての開発で、同じく新卒入社同期と手分けして開発 ・主に計算ロジックなどの裏側を担当したが、お金の計算で誤った金額を表示しないように、少しでも怪しい場合はエラー表示にするなど工夫 ・現在も運用は継続中であり、その間バグを一切起こしていない（現在、3年ほど運用中）</p>	Google spread sheet GAS	メンバー (2名)

■スキル(評価レベル)

A: 他者への指導に自信がある/標準化を作成、周知できる / B: 個人で高い生産性を維持することができる / C: 理解しており指示に基づく作業を行うことができる

業務範囲		Web開発言語(サーバーサイド)	汎用言語(仮想マシン系)	その他言語	JavaScriptフレームワーク	
システム企画提案	A	PHP	C	Java	COBOL	AngularJS
要件定義	A	Python	A	C#	XML	jQuery
基本設計	A	Ruby		Scala	SQL	A Polaris
詳細設計	A	Perl			PL/SQL	
製造・構築	A	Perl			GO	Ruby フレームワーク
試験	A	Shell	B		Delphi	Ruby on Rails
					UML	
OS		Web開発言語(クライアントサイド)	一般的言語	VB	Java フレームワーク	
Windows	A	JavaScript	VBA	RPG	spring	
Linux	A	ColdFusion	HTML	C	Batch	struts
MacOS	C		CSS	C		JSF
Android						
iOS		汎用言語(ネイティブ系)			.NET フレームワーク	PHP フレームワーク
ITRON		C			C#.NET	Laravel
VxWorks		C++			VB.NET	CakePHP
RHEL		Objective C				FuelPHP
Windows Server		Swift				Zend Framework
UNIX						